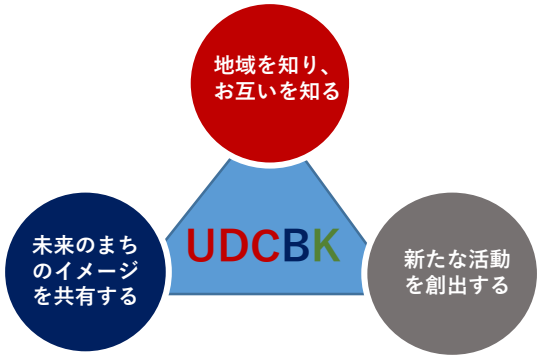
アーバンデザインとは

☞　アーバンデザインとは、地域の歴史や現状を知り、またお互いを知り、未来のまちのイメージについて、みんなで話し合い、共有します。そうして、未来を創造するための新たな活動 を産みだし、人々のニーズにあった都市空間をデザインすることです。



アーバンデザインセンターとは

☞　複合化した地域の課題に対して、産学公民それぞれの立場で活動する様々な個人や組織が、 様々な場面で臨機応変につながり、協働して解決 に取り組みを進めるためのプラットフォームです。

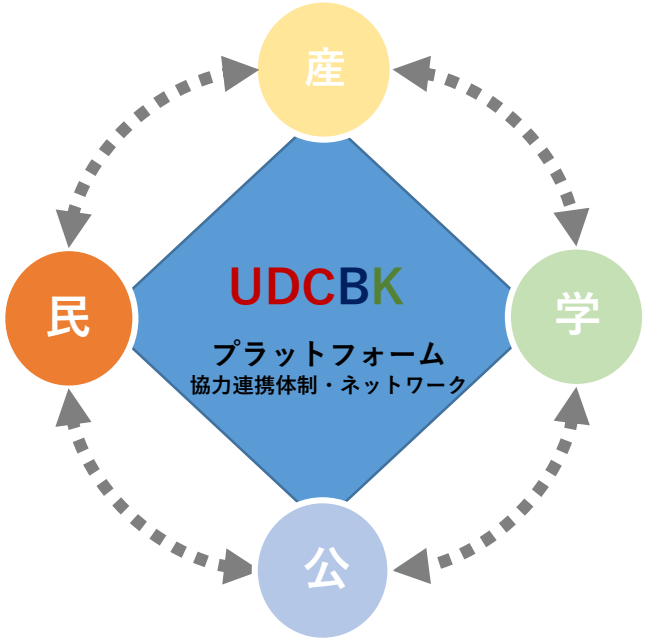
☞　大学や専門家は、新たな技術や理論を積極的 にまちに応用すると共に、長期的・客観的視点から見たコラボレーションの方向づけをする上で、 重要な役割を担います。

☞　産学公民の協働によって、新たな活動の創出を図りながら、まちを創造する拠点です。

産学公民連携で未来をデザイン

UDCBK

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ



UDCBK のミッション

☞　UDCBKは、草津のまちづくりの推進のために、「産」「学」「公」「民」が多様な価値観、個性、創造性を基礎とした知見を持ち寄り、専門家の先導的助言を得て、お互いの良さを活かしつつ、長期的な見通しを持った都市デザインを構想し、必要に応じた社会実験やワークショップなどを行い、更に、学習事業などを実施し、まちづくりに寄与することを目的とします。

UDCBKのプロジェクト

⑴都市デザイン連携プロジェクト

多くの都市で車中心から人中心の空間へと再構築し、居心地がよく歩きたくなるまちづくりが進められており、草津市における「ウォーカブルな都市空間の創造」を関係部署と連携し取り組みを進めます。

①南草津駅周辺の公園を中心としたまちづくり

南草津駅周辺における魅力ある滞留・交流空間の創出として東山道記念公園等の公園の利活用を検討し、社会実験などの取り組みを進めます。

②南草津駅周辺の公民連携空間の利用促進

人々が滞留したくなる魅力的な空間づくりを建築物の屋内・歩道にまたがる公民連携空間の利用促進により、健幸都市を標榜する草津市らしい「歩いて暮らせるウォーカブルなまち」を実現する取り組みを進めます。

⑵都市と交通プロジェクト

南草津駅が開業し急速な都市化が進み、南草津駅周辺では交通環境の改善が課題となっていることから、交通渋滞の緩和や公共交通の利用環境の改善など関係部署と連携し取り組みを進めます。

⑶大学生が住むまちプロジェクト

草津市は約7,000名以上の大学生が居住する都市でもあり、安全安心・快適なまちづくりを進める中で、大学生は重要な担い手であり、オフキャンパスである南草津エリアで地域の人々との交流を通じお互いに成長できるまちを作り、南草津エリアの魅力を高める取り組みを進めます。

プロジェクトを推進する主な取組

1．都市デザイン構想事業

（1）都市デザインマネジメントスクール

ワークショップや社会実験などを実施し、産学公民の多様な意見を踏まえ、市の施策への反映を目指します。

（2）アーバンデザインセミナー

広く市民がまちづくりに関心を持てるよう、テーマごとの学習の場と機会を提供します。

2．社会実験準備事業

UCDBKが提示するテーマに対して、包括協定を締結している大学を対象に社会実験準備事業を委託します。

3．オープンスペースの運営

UDCBKのミッションである都市デザイン・まちづくりについて、話し合いや活動を行う場として運営します。

4．情報発信事業

UDCBKの活動を発信し、広く市民の理解を得て、まちづくりを推進します。